



箔事業

リチウムイオン電池の外装材用に使われるアルミ箔。品質管理が厳しいリチウムイオン電池を保護するもので、シールド性に優れ、軽く成形しやすい高機能素材の特性が生かされている。パソコンやタブレットなどの電子機器、電気自動車向けの需要が急激に伸びている。



パウダー・ペースト事業

光の干渉を利用して、見る角度によって色が変わるメタリック顔料「クロマシャイン」。独自の表面処理技術や粉体メッキ技術を融合して開発された。従来の塗料のインキ用途に加えて、自動車のメタリック塗装や化粧品など、さまざまな分野で新しい意匠の可能性を広げている。



日用品事業

アルミホイルだけでなく紙を素材とした家庭用品を生み出している。現在売れているのが「キレイな暮らし」を提案するフィルター製品。レンジフードや換気扇など、機器の性能を損なわずに、油污れやほこりをキャッチする性能を持つ。「フィルたん」のキャラクター名で知られる。



新事業

「ステンシェル」は、高品質のステンレスを厚さ0.3mmに加工し、塗料樹脂に配合させたハイブリッド塗料。ステンレスフレークと樹脂による積層構造塗膜を形成することで、腐食因子の侵入を防ぎ、素材を長く守り続ける。屋内外の構造物や工業製品などに幅広く利用できる。

東洋アルミニウム

View Point 2021

2021年に90周年を迎えた東洋アルミニウム。創業以来、アルミニウムの機能性・意匠性用途の可能性を追求し、オンリーワンの高機能材料を生み出してきた。昨年度から自律型組織への変革を目指して「MXプロジェクト（経営プラットフォーム改革プロジェクト）」も始動、新たなステージに進もうとしている。

期待を超えるオンリーワンのアルミ製品を提供する

地 殻の中に一番多く含まれる金属元素アルミニウム。軽くて加工しやすく、磁気を帯びず、リサイクルが可能で環境に優しい、などの優れた特長を持つ。東洋アルミはその特性を生かしながら、社会や産業、暮らしに役立つ数々の高機能素材や製品を生み出している。

昨年6月に就任した楠本薫社長は、「当社の強みは、先進的な研究開発を基盤に付加価値の高いオンリーワンの製品を創り出していること。グローバルニッチトップ企業としてお客さまのニーズにしっかり応えながら、その期待を超

えるような製品を提供していることです」と語る。

同社の事業分野は大きく四つある。まず箔事業。アルミ箔の厚さを最新の技術で自在にコントロールし、ゆがみの制御やピンホールの検出に注意を施しながら、優れた製品を生み出している。これまでは食品や医薬品などの包装材が多かったが、最近はパソコンやスマートフォン、車載用に



東洋アルミニウム
楠本 薫
代表取締役社長 COO

使われる、リチウムイオン電池の外装材としてのニーズが高まっている。

「リチウムイオン電池の外装材用に使われるアルミ箔は、特に電気自動車（EV）の普及拡大を背景に需要が伸びています。外装材用アルミ箔は貼り合わせる樹脂やフィルムとの密着性が求められますが、当社の製品は表面特性に優れ、電解液の漏れなどを防ぐ高品質のアルミ箔。現在、EVの用途としては、世界で50%以上のシェアを確保するまで成長しています」

二つ目はパウダー・ペースト事業。パウダーはアルミの地金を溶かして微細な粉末にしたもの。そのパウダーを主原料としたアルミペーストは、自動車のメタリック塗装や印刷インキ用に使われる。またアルミは非常に熱伝導性が良いことから、樹脂等に練り込んで「放熱」させる素材としても重宝され、LEDや半導体を中心に放熱用途の需要が高まっている。

三つ目は日用品事業。同社の製品では「サンホイル」をはじめとするアルミホイルの家庭用品になる楽しみがあるが、近年はアルミにこだわらず、成形技術を生かして紙を加工した環境対応製品を開発。

パルプモールド容器や不織布を使ったフィルター製品にも力を入れている。

そして四つ目は新事業。従来のアルミ箔やパウダー・ペースト事業で培った技術を生かしながら、太陽電池軽量モジュールや、放熱性と強度を向上させた成型型副木、高耐久性のステンレスフレーク含有塗料など、将来の東洋アルミを支えるビジネスの創出を目指している。

自律型組織への変革を目指す「MXプロジェクト」を推進

同社ではまた楠本社長就任と同時に、自律型組織への変革を目指し「MXプロジェクト（経営プラットフォーム改革プロジェクト）」をスタートした。まず、若手や中堅社員が中心となって、新たな経営理念としてMission、Vision、Valueを策定。意思決定や意思疎通がスピードアップできるよう、部課制を廃止してユニット／チーム制を導入した。2022年7月からは能力評価制度を導入して、人事・報酬制度を大幅に改定予定である。社内コミュニケーションを活性化させるためにOKR

(Objective and Key Results)という目標管理手法も導入した。

「新スローガンとして、従来の“未来を創る、私が創る”に“みんなが創る”を追加。フラットでオープンな雰囲気社内に根付き、規律と自律が両立したバランスの良い組織になることで、業績にも好影響が出ることを期待しています。プロジェクト開始から1年半が経過しましたが、組織内には変化の兆しが現れており、大きな手応えを感じています」

同社はまた、持続可能な社会に向けサステナブル経営も推進している。バリューチェーン、サプライチェーン全体で脱炭素社会を実現するため、さまざまなステークホルダーと協働。地金製造時の再生可能エネルギーの利用や、アルミ箔のリサイクルなどに積極的に取り組む。

新型コロナウイルスの影響で厳しい市場環境が続く中、自由な発想と確かな技術を基にアルミの可能性を追求し続けている。

東洋アルミニウム株式会社

〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町3-6-8 御堂筋ダイワビル
TEL: 06-6271-3151(代表)
<https://www.toyal.co.jp/>